

ビエニセイトノ連絡ヲ通スルノ援助ト爲ルヘシ

オビエニセイトノ連絡スル水路ハ六千「ウエルスト」^一九町四十六間^ハニシテ天然水流ノ注入ハ其通路ノ全部ニ沿シ且ツ此オビエニセイトナル兩大河ノ河域ノ併合スルニハ只ヤレウヤ河ト小カツス河トヲ連絡スル五「ウエルスト」ノ一運河ヲ開鑿シ同處ニ二箇ノ水閘ヲ設置スルヲ要スルノミ

大小ノカツス竝ニアジョールナア河上ニ於テハ大雨又ハ洪水等ノタメ流寄シ來ル所ノ巨材ヲ通過セシムル方ヲ設ケ其他ラモウ「ヤレウヤ」河及小カツス河ノ上流ハ水底ヲ深クシ又二箇ノ水閘ノ建設ヲ要シ總テ河流連絡上十二箇ノ水閘ヲ要セリ

商業上ニ於テ此連絡ノ必要ナル所以ハ其通路ノ兩端ハキヤフタ及イルビート換言スレハ支那ノ境ト歐羅巴ノ境ヨリナルコトヲ見テ知ルヘシ且ツ此連絡ニ由リテ兩河域ハ同時ニ北極地方及西伯利ノ山岳地方竝ニ平原森林地方大曠原地方等ヲ圍繞シ露國ノ本部ト西伯利トノ商業ハ勿論支那露國及歐洲間ノ商業上ノ媒介トモ爲ルヘシ

此河流ノ連絡上世人ノ遺憾トスル所ハ只河底ノ深カラサルノ點ニアリ故ニ春時ニ於テハ増水ノ間ノミ貨物五千「ブード」ヲ積載セル小船ノ通行ヲ許スモ夏時ニ於テハ貨物五百「ブード」^一三百六十噸^ハ積載セル船舶ノ通過ヲ許スノミ(本年四月二十五日佛國商工業會議所雜誌)

○浦湖斯德近傍ニ商港ヲ築造スルノ議 本年四月六日ノ露國官報ニ據レハ三月二十日ノ西伯利鐵道會議ニ於テ先ツ現場ニ就キテ西伯利鐵道ノ敷設ニ關スル諸問題ヲ調査セシムルタメ臨時調査委員ヲ西伯利ヘ派遣スルノ議ニ附キ審議シ勅裁ヲ經タル後更ニ浦湖斯德近傍

ニ商港ヲ築造スルノ議ニ附キ審議シタリ按スルニ故黑龍沿道總督コルフ男ヲ委員長ニ戴キ陸軍省海軍省及工部省ノ委員ヨリ成立シタル特別委員會ハ既ニ千八百九十二年ニ於テ斯ル商港ヲ築造スルヲ得策トシタルヲ以テ當時ノ工部省辦理ウヰテハ右委員會ノ意見ニ基キ金角灣ニ於テ商港ヲ築造スルニ便宜ノ地ヲ相定セシメ其經費一萬七千五百留ヲ南烏蘇里鐵道工事費中ニ編入スルノ手續ヲ爲シ而シテ實地調査ノ結果トシテ金角灣上ニ就キ浦潮斯德乘客列車停車場トエグリシエリト岬トノ間ニ於テ右ノ商港ヲ築造シ其海岸通ヲモ同港ニ設クルノ設計ヲ立テタリ然ルニ當時金角灣ハ單ニ陸海軍兩省ノミノ所轄ト爲シ置キ別ニウリスニマレバトロークルニマレ東ボスフォル海灣ノ一ヲ擇フカ又ハ浦潮斯德外ニ於テボシエツト、アメリカ兩灣ノ一ヲ擇ヒ同處ニ商港ヲ築造スヘシトノ議起リタルタメ彼設計モ其儘ト爲リテ裁可ヲ經ルニ及ハサリシト雖モ而モ實地ヲ目撃セル者ノ言ニ據レハ浦潮斯德停車場ノ廣場ハ孰ノ點ニ於テモ海ニ接セスシテ線路ハ港口ト直接ノ交通ヲ爲スヲ得スト云ヘリ此不便ヲ避ケンカタメニハ工部省ニ於テ其方策ヲ講究シタレトモ浦潮斯德停車場ノ近傍ニ商港ヲ築造スルノ議ニシテ決定スルニアラスンハ鐵道ノタメニ所要ノ地區ヲ備フルノ手段ヲ執ルコトモ亦爲シ能ハサルハ明白ナリ

仍テ鐵道會議ハ商港築造ノ問題ヲ成ルヘク速ニ決定スルヲ必要ト認メタリ然ルニ此問題ヲ決定セント欲セハ宜シク金角灣ト浦潮斯德ニ近接セル他ノ灣トニ於テ綿密ナル技術上ノ調査ヲ施シ以テ其便否ヲ較定スルヲ要スルコトナルカ工部大臣ノ見積ヲ以テスレハ其經費ハ約ソ二萬留ヲ要スヘシト云フ而シテ之ヲ烏蘇里鐵道工事費ニ編入スルモ毫モ差支ナキカ故

ニ鐵道會議ハ本年内ニ彼諸灣ノ調査ニ著手スルヲ可トシタリ尙ホ此問題ハ甚々複雑ナルモ
ノナルカ故ニ前記ノ臨時調査委員ノ内ヨリ若干名ヲ浦潮斯徳ニ出張セシメ同港ノ知港事ヲ
議長トシテ特別ノ會議ヲ開カシメ豫メ現場ニ就キテ精細ノ調査ヲ遂ケシムルヲ以テ策ノ宜
シキヲ得タルモノト爲セリ

是ニ於テ皇帝ハ以上議事ノ旨意ニ基キ左ノ勅命ヲ下サレタリ云々

第一 千八百九十五年ニ浦潮斯徳市ニ近接セル海灣ニ於テ商港築造ノ場處ニ附キ精密ナ
ル技術上ノ調査ヲ爲サシムルコトヲ工部省辨理ニ委任スヘシ但シ右調査ノ經費ハ二万
留ヲ以テ限度ト爲スヘシ

第二 西伯利鐵道ノ終點ニ於テ商港ヲ築造スルノ議ニ附キ豫メ調査セシメント今同工
部次官ヲ議長トシテ組織スヘク定メタル委員會ノ南島蘇里鐵道ヘ派遣セラルヘキ委員
ニ浦潮斯徳市並ニ陸海軍省ノ代表員ヲ加ヘ浦潮斯徳ノ知港事ヲ議長トシテ特別會議ヲ
浦潮斯徳ニ設クヘシ

第三 浦潮斯徳港ノ調査費一万七千五百留ヲ南島蘇里鐵道工事費ニ編入スルノ件ニ關ス
ル千八百九十二年ニ工部省辨理規畫ヲ認定スヘシ

○大厦鋼鍊使用論

ゼ、エンジニアリング、レコト四五十年ノ以前ニアリテハ^展鋼鍊ヲ

採用シテ普ネク諸般ノ用途ヲ充タシ得ントハ夢想セサリシコトニテ現時ノ見本ト當時ノ見
本ヲ比較セハ其際ノ情况一目瞭然タリ亞米利加ニテ始メテ鋼梁ヲ展成セシハ千八百五十三
年トレントンニ於テシ同シク始メテ鋼梁ヲ製作セシハ降リテ千八百八十五年カルネジー氏